

「地域におけるまちづくり（防災・健康づくり）」

○取り組みの実施にあたり、地域（市民）、行政でみられる要点（ポイント）

【構想・計画段階】

	地域（市民）	行政
情報共有・ 情報提供	大きな課題や動きに対して、興味関心を持つ 地域（市民自身）のこととして考える	対話を重ねる（説明責任）
現状把握 課題認識	地域を知る、考える	地域に積極的に入っていく 地域データの収集
目的の設定 と共有	地域の実情に即した目的の設定と共有	
目標の設定 と共有	目的の実現に向けた目標の設定と共有 目的との整合性、実現可能性の考慮	
手段	目標を達成するために有効な手段の設定	
	地域（市民）が主体的に取り組める手段の具体化	対象に合わせた手段の設定 地域の特性や市民のアイデアを十分に反映した手段の検討

【実施段階】

計画の実施	地域（市民）の責任の範囲で自主性・自立性を発揮	行政の責任の範囲で地域（市民）活動を補完
-------	-------------------------	----------------------

目標の達成



目的実現

新たな取り組みへの発展

<以上の流れの中に見られる、参画・協働の効果>

- 行政だけでは成し得なかった成果（協働の効果）
- 地域（市民）のまちづくりへの意識の高まり
- 地域（市民）と行政の信頼関係の醸成や新たな協力関係の構築